



TITLE:

70年前の図書寄贈依頼

AUTHOR(S):

CITATION:

70年前の図書寄贈依頼. 静脩 1965, 1(4): 5-5

ISSUE DATE:

1965-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36248>

RIGHT:

アメリカにおける

アジア研究資料展開催

本館と京都アメリカ文化センターとの共催で、2月9日より12日まで4日間、陳列室で資料展を開催した。9日は10時より開会式を行い、本学に縁の深い米国大使館B・ファーズ参事官も出席され、挨拶の言葉を述べられた。



展示された資料は、最近のアメリカにおけるアジア研究の成果を示す図書約500点余であるが、そのうちの3分の2以上が、中国および日本関係図書である。これらの著者の中には本学で研究された学者の名前も多く見出され、資料展をいっそう親しみ深いものにした。

参観者には資料展の目録を配布したが、1,000部以上用意した目録が最終日には不足し、係員をあわてさせるほどであった。厳寒期しかも試験期であるため、参観者が少ないのではないかと当初の予想を覆し、盛況裡に終了した。

70年前の図書寄贈依頼

京都大学が1897年（明治30年）に設立された当時、木下総長の名前で全国的に図書の寄贈を依頼したことは、「京都大学附属図書館60年史」にも明らかにされていることであるが、このほど、このことを報じた当時の新聞記事が富山市の村上清造氏から送られてきた。ひろく全国的な支援を得て設立された本学図書館は「我国西部の必要に応ずべし」（附属図書館60年史 p.4）という意気込みで発足し、たんに本学関係者だけでなく、誰にでも広く公開することを最初から意図していたが、このことは以下の記事においても、「一般公衆の閲覧を許す由」と報ぜられている。資料を送られた村上清造氏の厚志に深く感謝したい。

京都大学創立記念

今般京都帝国大学に於ては創立記念として左記の手續に依り広く有志者より書籍文書標本等の寄贈を受け該校図書館設備の完成を須て一般公衆の閲覧を許す由にて同大学総長文学博士木下広次氏より富山県へも寄附方を依頼し来れりと

- 1 本学図書標本等を寄贈せんとする人は其目録冊数目方等を詳記し本学へ通知せられたし
- 2 寄贈者にして運送費をも支弁せらるる場合に於ては前条の手續を要せず直に現品を本学へ送付せられたし
- 3 東京及び京都以外の地に在りては第1項の通知を領したるときは其送付の方法に関しては別に本学より寄贈者に通知をすべし
- 4 第1項より通知を得たる書籍等にして其運

送費多額を要し本学経費を以て支弁し能はざるときは発送の延期を申出つることもあるべし

- 5 本学に於て現品受領を了りたるときは本学所定の本受領証を寄贈者へ送付すべし
- 6 寄贈書籍標本等に寄贈者の氏名を附記して鄭重に保存すべし
本学創立の際に受領したる物に就きては尚ほ其旨をも附記すべし
- 7 寄贈者の意見により金員を寄贈し図書標本等の講求費に充てんことを申出でらるる時は本学に於て適宜之を講求し前諸項の手續をなすべし

（北陸政論、1495号明治31年3月24日付）